Hakuyosha
CLEAN LIVING

2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　　株式会社白洋舎　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　9731　　URL　https://www.hakuyosha.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役 社長執行役員　（氏名）　五十嵐　瑛一
問合せ先責任者　（役職名）　経理部長　（氏名）　橋本　裕之　（TEL）03(5732)5111

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　　証券アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	33,839	2.3	1,137	△33.7	1,292	△29.5	1,795	34.4
2025年12月期第３四半期	33,084	2.0	1,715	△7.0	1,833	△8.9	1,335	△17.0

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　2,225百万円（　56.8%）2025年12月期第３四半期　1,418百万円（△11.8%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	477.43	―
2025年12月期第３四半期	352.36	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	37,077	14,576	38.9
2025年12月期	35,305	12,890	36.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　14,426百万円　　2025年12月期　12,761百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	30.00	―	50.00	80.00
2026年12月期	―	50.00	―		
2026年12月期(予想)				50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	2.6	1,800	△24.9	2,000	△23.1	2,200	3.1	585.49

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　社（社名）　　、除外　　社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	3,900,000株	2025年12月期	3,900,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	149,392株	2025年12月期	107,766株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	3,759,880株	2025年12月期３Ｑ	3,791,519株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（会計方針の変更） …… 8
（セグメント情報等） …… 9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間(2026年１月１日～９月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、物価上昇や中東情勢緊迫の長期化に伴うエネルギー価格の高騰等が個人消費のマインドにネガティブな影響を与えており、先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは2024年から本年まで３ヶ年の中期経営計画に基づき、構造改革やマーケティングによる収益力向上等に取り組んでおります。

2026年12月期の第３四半期連結累計期間の当社グループの業績は、レンタル事業における法人得意先の需要は堅調に推移した一方、天候不順や物価高を背景とした個人消費の伸び悩みがクリーニング事業の減収につながったことから、売上高は33,839百万円(前年同四半期比2.3%増)に留まり、人件費の増加や諸経費の上昇について、コストコントロールを図ったものの、営業利益は1,137百万円(前年同四半期比33.7%減)、経常利益は1,292百万円(前年同四半期比29.5%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の計上等により、1,795百万円(前年同四半期比34.4%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

〈クリーニング〉

クリーニング事業は当社の祖業でありますが、服装のカジュアル化や家庭用洗濯機の高性能化を背景にした長期的な市場縮小の状況に対応するため、事業構造を転換し、当社の強みを生かしながら、多種多様なライフスタイルを持つお客さまの需要をとらえ、収益につなげる施策を進めております。本中期経営計画期間においては、不採算店舗の閉鎖・移転や営業拠点の集約・統合、集配サービスにおける往訪ルートや店舗における人員配置の最適化といったコスト構造改革のほか、スマートフォンアプリの導入推進、アニメーション・映画作品とのコラボレーション等のマーケティング施策を遂行しております。

クリーニング事業の売上高は、９月１日に実施した料金改定による１点単価の上昇はあったものの、中長期的な需要の低下に加え、夏場以降の天候不順や物価高による家計の節約志向の一層の高まりにより、集品点数が減少したことから、11,954百万円(前年同四半期比4.3%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は売上高の減少に加え、人件費等の増加、中東情勢に伴う資材・エネルギーの単価上昇もあり、937百万円(前年同四半期比29.9%減)となりました。

〈レンタル〉

レンタル事業は、主に法人のお客さまを対象とし、ホテル・レストラン等のリネン品を取り扱うリネンサプライ部門と、コンビニエンスストアや外食産業、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル部門の２つの部門があり、それぞれの部門においてレンタル品のクリーニングや在庫管理、集荷・配送といったサービスを総合的にご提供しております。

リネンサプライ部門においては、インバウンド需要の拡大が今後も見込まれる一方、工場の経費構造改革による収益性改善を図るため、中期経営計画においては、原価管理の徹底・工程の改善や、業務協力会社との連携強化による効率改善、また原材料費が高騰する中での得意先ホテルに対しての適正な価格改定交渉等に取り組んでおります。

ユニフォームレンタル部門においては、国内大手企業からの需要維持・拡大が継続し、安定的な収益性を維持しております。一方、市場の低価格化競争が激しく、需要の更なる拡大と収益力の維持が課題となっていることから、中期経営計画においては、工場の効率改善や生産キャパシティの増強、デジタルマーケティングによる新規顧客獲得、さらに新たな付加価値となるサステナブル商品としての循環型ユニフォームリサイクルスキームの構築等を進めております。

レンタル事業の売上高は、インバウンド需要にやや陰りが見られたものの、新規に開業したホテルとの取引の開始や、得意先ホテルのリニューアルオープン、価格改定による増収効果等から、21,132百万円(前年同四半期比6.3%増)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は、人件費、取引の増加に伴う外注作業費やリネン品の償却費の増加、中東情勢を背景としたエネルギーコスト高騰による集配車両費等の上昇等により、1,743百万円(前年同四半期比0.2%増)に留まりました。

〈不動産〉

不動産事業では、当社所有不動産の賃貸および管理を行っております。

不動産事業の売上高は379百万円(前年同四半期比4.0%増)、セグメント利益(営業利益)は260百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

〈その他〉

その他の事業として、クリーニング業務用の機械・資材等の販売を行っております。

その他事業の売上高は、372百万円(前年同四半期比7.9%増)となりましたが、セグメント利益(営業利益)は61百万円(前年同四半期比3.6%増)となりました。

なお、当社は2026年10月28日に2026年12月期の連結業績予想の下方修正を行っておりますが、親会社株主に帰属する当期純利益は、上期に計上した固定資産売却益等により、前期実績比では増益を確保できる見通しであることから、2026年12月期の年間配当については、2026年２月13日公表の配当予想通り、１株当たり100円(昨年度より１株当たり20円の増額)を見込んでおります。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,772百万円増加し、37,077百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加1,305百万円等により773百万円増加し、14,400百万円となりました。

固定資産は、リース資産（純額）210百万円、投資有価証券の増加649百万円等により999百万円増加し、22,677百万円となりました。

また、流動負債は、短期借入金の増加672百万円、１年内返済予定の長期借入金の減少1,982百万円等により969百万円減少し、10,987百万円となりました。

固定負債は、退職給付に係る負債の増加103百万円、その他の増加955百万円等により1,055百万円増加し、11,513百万円となりました。その他の増加の主な要因は、リース債務の増加です。

純資産は、利益剰余金の増加1,405百万円等により1,685百万円増加し、14,576百万円となりました。

自己資本比率は前連結会計年度末の36.1%から38.9%へ増加いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、当第３四半期（累計）の実績および足元の業績動向を踏まえ、これを見直した結果、2026年２月13日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、2026年10月28日に別途公表いたしました「2026年12月期　連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,543	1,400
受取手形及び売掛金	4,571	4,328
棚卸資産	6,790	8,095
その他	735	588
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	13,626	14,400
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,373	21,186
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,968	△15,744
建物及び構築物（純額）	5,404	5,442
機械装置及び運搬具	10,183	10,213
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,488	△8,399
機械装置及び運搬具（純額）	1,695	1,814
土地	6,205	6,132
リース資産	4,484	4,715
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,348	△3,368
リース資産（純額）	1,135	1,346
その他	1,380	1,431
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,249	△1,257
その他（純額）	130	174
有形固定資産合計	14,572	14,910
無形固定資産	354	387
投資その他の資産		
投資有価証券	3,002	3,652
差入保証金	737	732
繰延税金資産	1,636	1,586
退職給付に係る資産	1,373	1,405
その他	66	66
貸倒引当金	△65	△63
投資その他の資産合計	6,751	7,379
固定資産合計	21,678	22,677
資産合計	35,305	37,077

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,625	2,760
短期借入金	1,688	2,360
1年内返済予定の長期借入金	4,174	2,191
未払法人税等	424	538
賞与引当金	183	463
その他の引当金	31	44
その他	2,830	2,628
流動負債合計	11,956	10,987
固定負債		
長期借入金	3,112	3,077
役員退職慰労引当金	32	38
従業員株式給付引当金	―	18
役員株式給付引当金	92	112
環境対策引当金	60	60
退職給付に係る負債	3,528	3,632
資産除去債務	467	454
その他	3,163	4,118
固定負債合計	10,457	11,513
負債合計	22,414	22,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,410
資本剰余金	1,567	1,567
利益剰余金	7,318	8,723
自己株式	△323	△473
株主資本合計	10,972	12,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,037	1,415
為替換算調整勘定	△6	96
退職給付に係る調整累計額	758	686
その他の包括利益累計額合計	1,789	2,198
非支配株主持分	128	150
純資産合計	12,890	14,576
負債純資産合計	35,305	37,077

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	33,084	33,839
売上原価	28,003	29,120
売上総利益	5,081	4,719
販売費及び一般管理費	3,365	3,581
営業利益	1,715	1,137
営業外収益		
受取配当金	32	36
受取補償金	73	75
為替差益	－	51
持分法による投資利益	45	35
その他	136	196
営業外収益合計	287	395
営業外費用		
支払利息	160	186
シンジケートローン手数料	0	－
為替差損	4	－
営業保証金	－	43
その他	4	9
営業外費用合計	169	240
経常利益	1,833	1,292
特別利益		
固定資産売却益	－	1,181
投資有価証券売却益	9	－
投資有価証券清算益	－	15
特別利益合計	9	1,197
特別損失		
固定資産処分損	17	11
特別損失合計	17	11
税金等調整前四半期純利益	1,825	2,477
法人税、住民税及び事業税	522	752
法人税等調整額	△57	△86
法人税等合計	465	665
四半期純利益	1,359	1,811
非支配株主に帰属する四半期純利益	23	16
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,335	1,795

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,359	1,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	160	377
為替換算調整勘定	13	35
退職給付に係る調整額	△67	△71
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	72
その他の包括利益合計	59	413
四半期包括利益	1,418	2,225
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,394	2,204
非支配株主に係る四半期包括利益	24	21

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			合計（百万円）	その他（注１）（百万円）	調整額（注２）（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注３）（百万円）
	クリーニング（百万円）	レンタル（百万円）	不動産（百万円）				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	12,496	19,878	－	32,374	345	－	32,719
その他の収益	－	－	365	365	－	－	365
外部顧客への売上高	12,496	19,878	365	32,739	345	－	33,084
セグメント間の内部売上高又は振替高	564	10	48	623	921	△1,544	－
計	13,060	19,888	413	33,362	1,266	△1,544	33,084
セグメント利益	1,337	1,739	251	3,328	59	△1,672	1,715

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありクリーニング業務用の機械・資材等の物品販売を取扱う事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,672百万円には、セグメント間消去34百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,707百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			合計（百万円）	その他（注１）（百万円）	調整額（注２）（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注３）（百万円）
	クリーニング（百万円）	レンタル（百万円）	不動産（百万円）				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	11,954	21,132	－	33,086	372	－	33,459
その他の収益	－	－	379	379	－	－	379
外部顧客への売上高	11,954	21,132	379	33,466	372	－	33,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	648	8	46	704	1,006	△1,711	－
計	12,603	21,140	426	34,171	1,379	△1,711	33,839
セグメント利益	937	1,743	260	2,941	61	△1,865	1,137

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントでありクリーニング業務用の機械・資材等の物品販売を取扱う事業を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△1,865百万円には、セグメント間消去13百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△1,879百万円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 自　2025年１月１日 至　2025年９月30日	当第３四半期連結累計期間 自　2026年１月１日 至　2026年９月30日
減価償却費	901百万円	951百万円